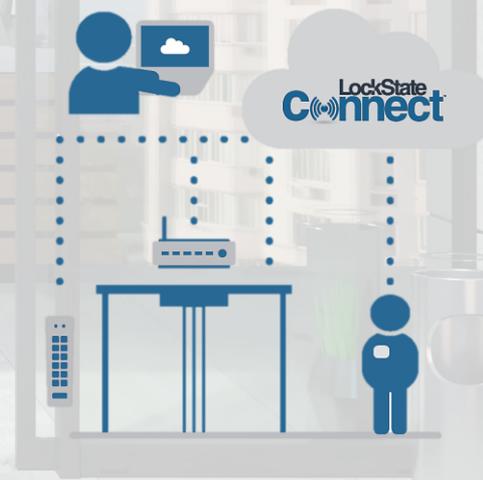


既存の自動扉や電気錠もクラウドで手軽で入退室管理。

トビラ
アクセスコントロールシステム 『TOBIRA』 のご紹介

世界50,000台の導入実績
レンタルスペース予約サイトと連動するスマートロック

Remote**LOCK** シリーズ
リモートロック



入退室管理は「手軽」&「便利」の時代です。

入退室管理は建物や空間のセキュリティを高め、部外者の侵入を防ぐことや、そこで過ごす人の安心を守ることが目的。その前提がありつつ、現在は入室管理に関わる業務の手間や負担を減らし、かつ、その空間の利便性を高めることも入退室管理の大きな役割となっています。これからの入退室管理は次の2つのキーワードをもとに選ぶことをおすすめします。

1 クラウド型 ～在宅やテレワークでも手軽に管理～

- サーバーの設置やソフトウェアのインストールが不要
- オンライン上でいつ・どこからでも入室権限を発行・変更・削除、入室履歴を把握
- 離れた場所にある複数のドアや拠点を一元管理

2 拡張性 ～空間利活用の可能性を高める～

- 予約や受付などの他のシステムと連動ができるか
 - 連動により業務の効率化や、入室者にとっても手間の少ない鍵の受け取りを実現
- 用途に応じた解錠方法を選べるか
 - シンプルな「暗証番号」 / コロナ対策として非接触の「カード」「二次元コード」「顔認証」

ホテル



- 夜間はエントランスを施錠して無人・省人で運営したい
- 宿泊期間中、ゲストはいつでも入館できるようにしたい
- ホテルシステムや客室の鍵との連動により効率的な鍵の受け渡しをしたい

店舗 / 貸しスペース



- 物販、アパレル、スポーツジム、サロンなどにおいて無人運営をしたい
- 会員制・予約制の店舗において予約システムとの連動させて鍵を自動発行したい
- キーレス化することによりスペース利用の利便性を高めたい

オフィス

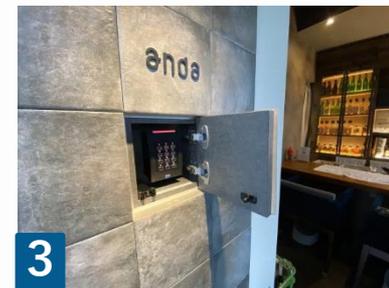


- 管理担当者により在宅やテレワーク環境でも手軽に入退室管理したい
- 既存の自動扉やゲート（電気錠）に後付け導入したい
- 社員の雇用形態、業者、ゲストなど入室者に合わせたセキュリティを設けたい

★ 設置予定の扉が開き戸であり退室履歴の取得やリアルタイムな遠隔施錠を要さない場合はスマートロック『RemoteLOCK』がおすすめです。詳細は[こちら](#)

★ TOBIRAを活用したオフィスの入退室管理は『RemoteLOCK OFFICE up』にて詳しくご紹介しております。詳細は[こちら](#)

- 1 ホテルのエントランスの夜間施錠に。客室の鍵と連動しての運用も
- 2 オフィスの入退室管理に。入退室履歴の取得や手軽な権限発行・削除を
- 3 会員制店舗のセキュリティ対策に。スタッフや会員のみ入店可能
- 4 コワーキングスペースの利用履歴の把握に。マーケティングデータとしての活用にも
- 5 事務所における来訪者対応に。遠隔からドアを解錠
- 6 屋外ゲート、7 駐車場の運営に。予約者や契約者にのみ入場権限を発行





株式会社FULLCOMMISSION 様



夜間スタッフの代わりにTOBIRAでセキュリティ強化

- 築25年ほどのビジネスホテルをリノベーションしてリニューアルオープン
- 人材不足のなか夜間スタッフの雇用が難しく、深夜業務は人件費も高騰するという課題
- TOBIRAにより深夜帯はエントランスの自動扉を施錠
- ゲストは客室の鍵と同じ暗証番号で解錠
- エントランスの施錠によりセキュリティを向上。夜間スタッフの配置をなくし人件費も削減

カインズ ペッツワン

株式会社カインズ 様



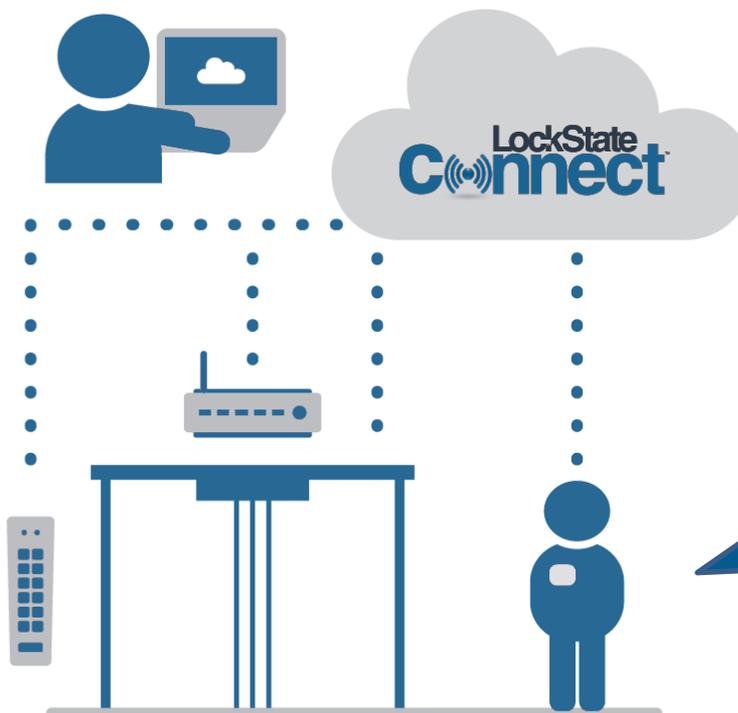
ドッグランの入口をスマホで解錠。予約連動により利便性も向上

- 2020年11月にオープンした「カインズ朝露店」
- 買い物をより便利にするためのデジタル施策を積極的に導入
- デジタル施策の1つとしてスマートフォンで予約と解錠ができるスマートドッグランを開設
- 自社の予約システムとAPI連携を行い、予約ごとに解錠用の2次元コードを自動発行
- 予約者は2次元コードを認証リーダーにかざして解錠。施設利用を圧倒的に手軽で便利に

既設の自動扉や電気錠をクラウド管理化します。

自動扉や電気錠をインターネットに接続することでクラウド上での入退室管理を実現します。認証リーダーをドア近くに設置することで、個人ごとの入室権限（暗証番号など）をクラウド上で作成することや、入退室履歴の取得を可能にします。

管理者はクラウドから
入室権限を作成



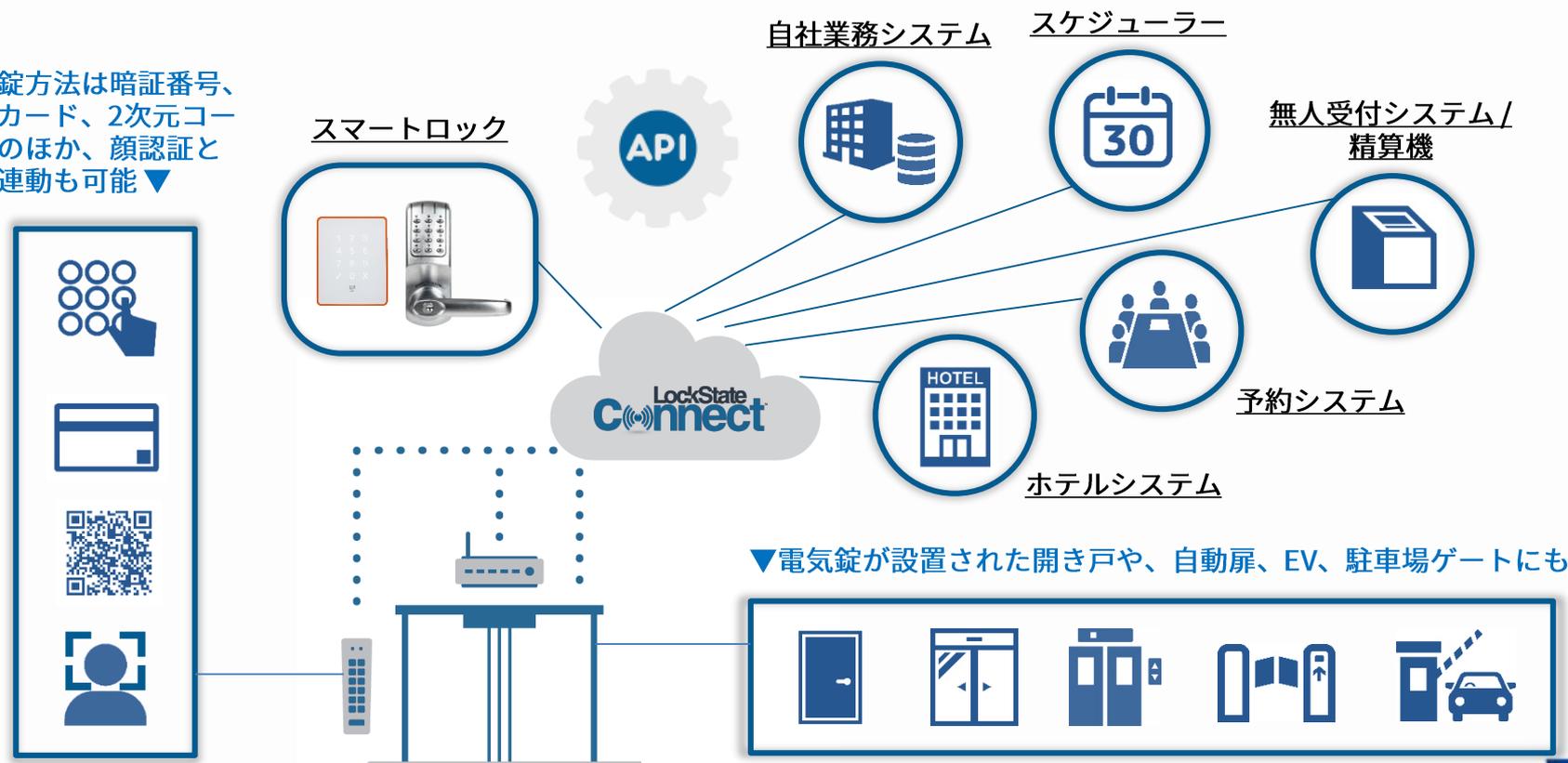
認証リーダーを設置

受け取った暗証番号
などで解錠

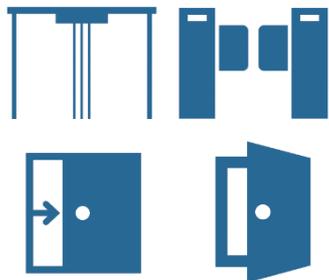
様々な扉やゲートに対応。APIで外部システムとの連動も。

オフィスであれば入口の開き戸や入館ゲート、ホテルであればエントランスの自動扉など様々な入口に後付け可能。解錠方法も用途に合わせて選べます。さらに、APIを通じて外部システムと連動できるため、既存の業務システムとの連動で業務をさらに効率化したり、空間利活用の利便性を高めることも可能です。

解錠方法は暗証番号、ICカード、2次元コードのほか、顔認証との連動も可能▼



① 自動扉、電気錠をクラウド接続。



自動扉や電気錠（電氣的に施解錠をする機構を組み込んだ錠前）にTOBIRAの専用基板を接続することで、専用のクラウド管理システム上で入室権限発行、遠隔からの施錠・解錠、出入りの履歴の自動保存などが行えます。

電気錠の設置が可能であれば、開き戸はもちろん、屋外のフェンスや駐車場ゲートもクラウドで制御できます。

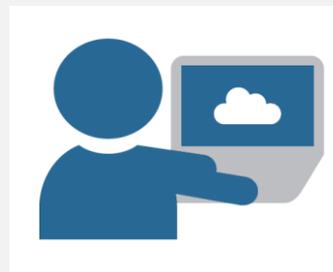
③ 離れた場所でも、複数でも、一元管理。



ドアが複数あったり、場所が離れている場合も、それぞれの施解錠状態や、解錠できる権限を持った入室者の情報はすべてクラウド管理システム上でまとめて把握できます。

また、異なる場所にドアが複数ある場合も、入室者は自分の暗証番号やカードひとつで解錠できます。

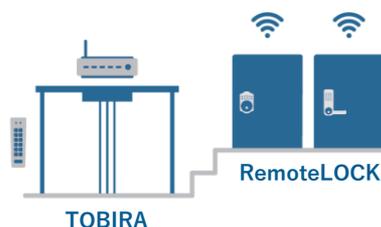
② 管理者はネットから手軽に入退室管理。



クラウドだから、いつ・どこからでも入室権限の発行・変更・削除が可能です。また、入退室履歴をリアルタイムに取得することや、管理者自身で簡単に履歴情報のCSV出力もできます。

従来型の入退室管理システムのように煩わしい専用サーバーの設置やソフトウェアのインストールも不要です。

④ スマートロック RemoteLOCK と連動。



TOBIRAは暗証番号式スマートロック『RemoteLOCK』との連動が可能です。

エントランスの自動扉にTOBIRAを設置し、施設内の各部屋にRemoteLOCKを設置した場合、各部屋に入るための暗証番号が自動扉にも自動で同期されます。

例えば、ホテルなどで深夜はエントランスを施錠する場合も、宿泊者であれば客室へ入るための暗証番号でエントランスの解錠ができます。

 <p>暗証番号の作成や履歴の確認はWEBブラウザで</p>	<p>10000名まで</p>  <p>個人ごとに解錠権限発行</p>	 <p>For staff 常時解錠可能な暗証番号</p>	 <p>For guest 有効期限付きの暗証番号</p>	 <p>暗証番号をメール通知(即時・スケジュール)</p>
 <p>スマホアプリでの管理(iOS/Android)</p>	<h2 style="text-align: center;">クラウド管理システム</h2> <p style="text-align: center;">操作はシンプル。セキュリティに関わる設定はきめ細やかに。</p> 			 <p>解錠可能な曜日と時間帯を制限</p>
 <p>API連携</p>				 <p>解錠不可日の指定</p>
 <p>解錠履歴のCSV出力</p>				 <p>解錠履歴の自動取得・保存</p>
 <p>RemoteLOCKと暗証番号を自動同期</p>				 <p>指定した時間帯にオートロック有効化・無効化</p>

TOBIRAのクラウド管理画面のイメージ①

アクセス画面：解錠権限をもつ入室者の一覧を表示
解錠権限をもつ入室者（ユーザー/ゲスト）の追加

RemoteLOCK 一覧 アクセス デバイス 設置場所 システム連携 高度な機能

東京セミナールーム（入室側）

タイプ 全て ユーザー ゲスト

名前	認証情報	開始日	終了日
ゲストB	PINコード: 8079	2020年3月 06日 15:00	2020年8月 31日 10:00
ゲストA	PINコード: 7738	2020年3月 06日 15:00	2021年6月 30日 10:00
玉田	PINコード: 1218		
池田	PINコード: 0224		

ゲスト

アクセスゲスト追加

基本情報

▼入室者のメールアドレス (暗証番号をメール送付可能)

名前

メール

▼入室できる期間の指定

開始日 終了日

2020-03-11 03:00 PM 2020-03-11 10:00 AM

ドアアクセス

設置場所

ドアグループ

各カギ

デバイス

東京_1001_EB1

アクセススケジュール

認証情報

▼ICカードや2次元コードの番号 or ▼4~10桁の暗証番号

ICカード番号 PINコード

448881

お知らせ機能

なし

初回ロック解除時のみ通知

ロック解除毎に通知

キャンセル 作成

入室者ごとに解錠権限を付与

入室できる期間 (= 解錠権限が有効な期間) の指定も可能

入室者と認証情報の追加

TOBIRAのクラウド管理画面のイメージ②

イベント画面：解錠時刻、入室者などの履歴を表示

RemoteLOCK 一覧 アクセス デバイス 設置場所 システム連携 高度な機能

東京セミナールーム (入室側) 最終接続時間 11:02 AM (12 秒前)

ロック 一時解除

アクセス

イベント イベント

設定

お知らせ機能

お知らせ履歴

利用方法 (メール通知用)

イベント日時	情報元	イベントタイプ	操作方法
2020年3月10日 11:02 JST	清掃者	アクセス拒否	PINコード (3697)
2020年3月10日 11:00 JST	デバイス	ロック	オートロック
2020年3月10日 11:00 JST	ゲストC (年契約)	ロック解除	PINコード (3615)
2020年3月10日 10:57 JST	デバイス	ロック	オートロック
2020年3月10日 10:57 JST	澤田	ロック解除	PINコード (0834)
2020年3月10日 10:56 JST	デバイス	ロック	オートロック
2020年3月10日 10:56 JST	Bさん	ロック解除	PINコード (9648)

お知らせ機能

ゲストC (年契約) は 東京_301号室_7S1 (2 東京本社_館内各部) をロック解除しました 受信トレイ 1To me

RemoteLock
To 自分
11:01 詳細を表示

東京_301号室_7S1 (2 東京本社_館内各部) は 2020/03/10 11:00 JST時に ゲストC (年契約) によってロック解除されました

返信 転送

利用可能なアドオン:

レポート

↓ 検索結果をCSV出力

履歴をCSV出力

誰がいつ解錠したか等の履歴

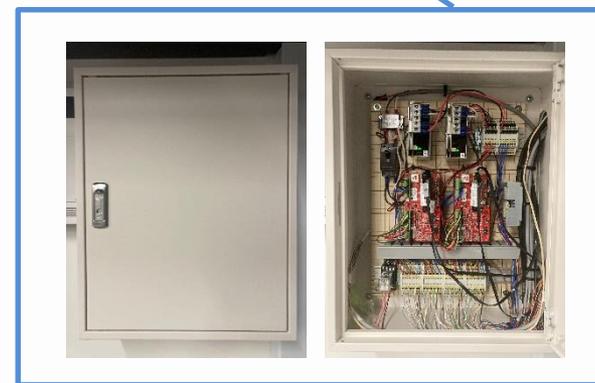
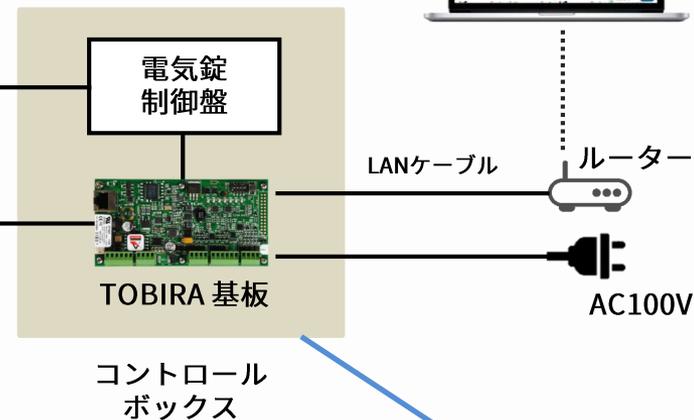
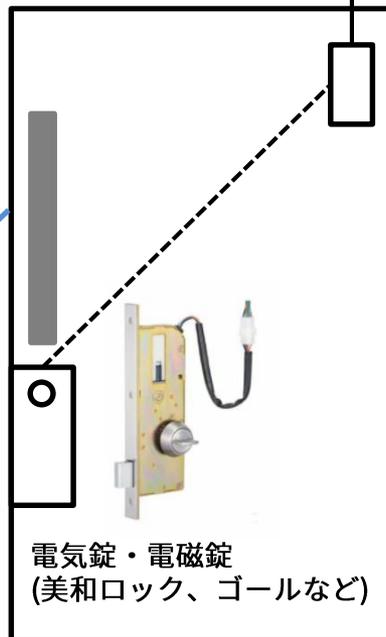
入室 (解錠) を管理者にメール通知することも可能

■認証リーダー→TOBIRA

認証した情報が管理システム上で有効な情報かどうかを判定

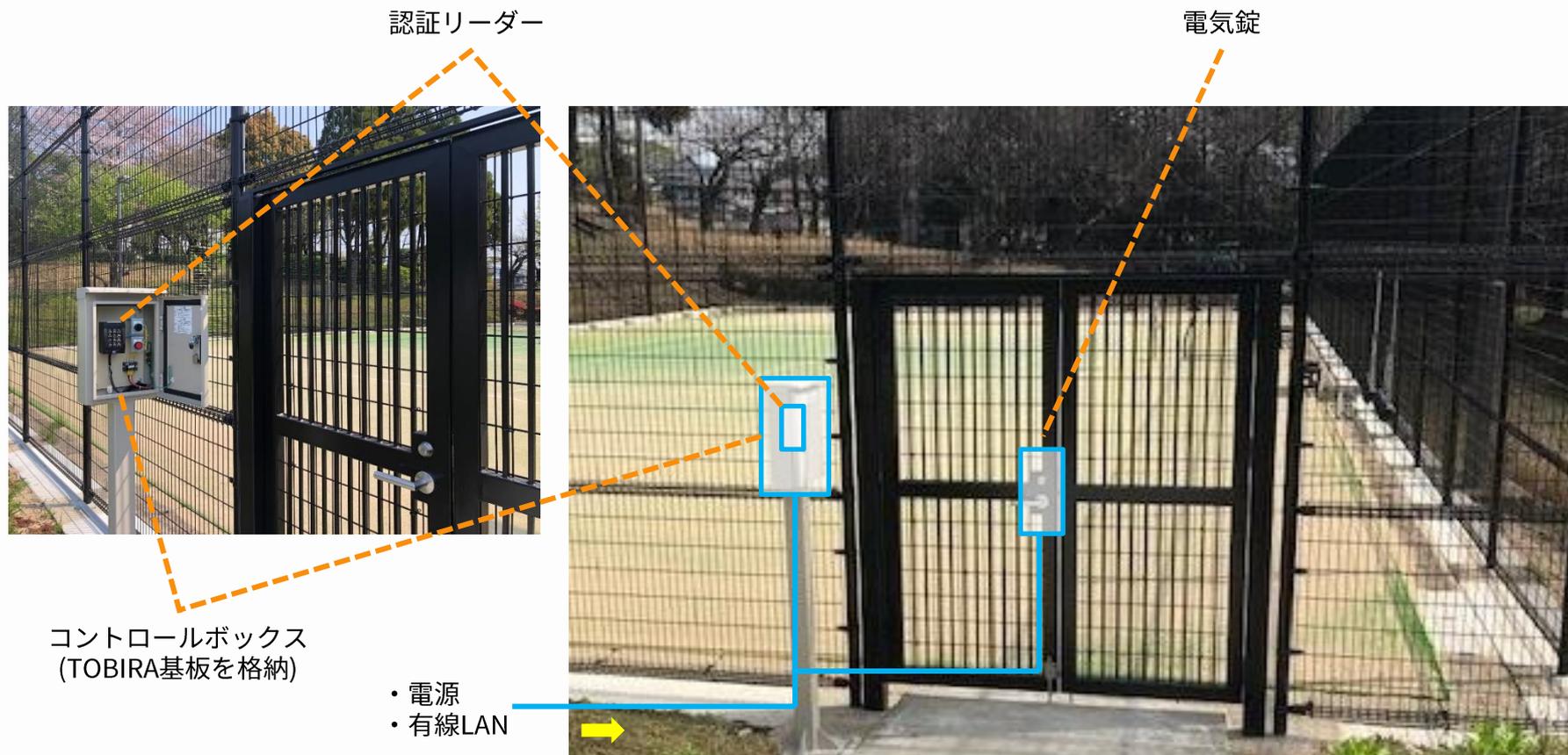
■TOBIRA→電気錠制御盤

管理システム上で有効な情報である場合、解錠の信号を出す



※電気錠の写真はイメージです
※設置方法については別途打ち合わせが必要です

弊社が運営・管理するテニスコートではTOBIRAを利用したアクセス管理を行っています。
配線は建屋からコントロールボックスまで地中配線で敷設しています。



ご提供機器

■ TOBIRA基板



■ 認証リーダー



テンキー・カード/
2次元コード

or



テンキー・カード

■ コントロールボックス



※写真はイメージです

■ その他工事雑材・副資材

設置物件にてご準備が必要な機器・設備



or



■ 電気錠・電磁錠が 設置された扉

■ 自動扉

※電気錠が設置されていない扉の場合は電気錠も含めたご提案が可能です
※上記以外の場所への設置はご相談ください

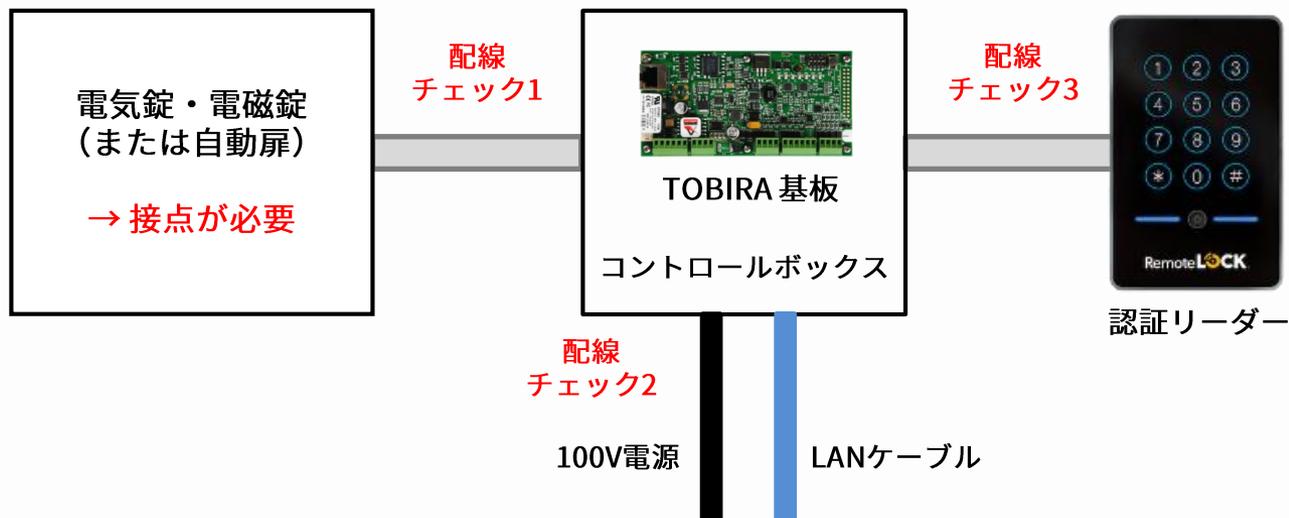
■ ルーター (インターネット回線)



■ AC電源100V



そのほかの要件や配線については次ページをご確認ください▶



TOBIRA設置に必要な配線をお客様側にてご準備いただく必要がございます。
以下、電気錠制御盤（または自動扉エンジン）と配線について、お客様側にてご提供可能なことをご確認ください。

■電気錠制御盤（または自動扉エンジン）
外部接点があること（TOBIRA 基板と接続します）

■配線

1. 電気錠からコントロールボックスまでの配管
2. コントロールボックス設置場所へ100V電源及びLANケーブル(インターネット接続)の配線
3. コントロールボックスから新たに設置するテンキーへ配線できる配管

1扉あたりのTOBIRA導入・運用費用

初期費用

■機器一式

30万円～



その他工事雑材、副資材など

※設置環境によって異なります。
※詳細な費用は設置場所の図面や写真、または現地調査およびお打合せによりお見積りいたします。

■設置工事・機器設定

30万円～

※設置環境によって異なります。
※詳細な費用は設置場所の図面や写真、または現地調査およびお打合せによりお見積りいたします。

ランニング費用

■システム利用料（月額）

5,000円 ※入室管理のみ / 入退室管理の場合は10,000円



入側のみ認証



入と出の側の両方で認証

※システム利用料のお支払いはクレジットカードのみ対応しております。

STEP1 お問い合わせ

まずはRemoteLOCKセールス窓口までお気軽にお問い合わせください。
用途やご想定の運用についてヒアリングののちに最適なソリューションをご提案します。

TEL : 050-5306-6250 (平日9:00-17:00)
MAIL : remotelock@kke.co.jp
WEB : <https://remotelock.kke.co.jp/contact/>

STEP2 専任パートナーのご紹介

専任のパートナー会社にて設置環境のより詳しいヒアリングや現場ご担当者様とのお打合せを経て、機器一式および工事費用のお見積りをご提示します。

STEP3 設置工事、システムのご契約

機器一式、設置工事は専任のパートナーに直接ご発注いただき、施工日程の調整となります。設置後、WEB上で管理システムをご契約（アカウント作成）ください。

■ 屋外での利用は可能ですか

屋外のゲート（P.14参照）や駐車場ゲートへの設置事例もあります。

■ 対応可能な電気錠や自動扉は決まっていますか

電気錠制御盤、自動ドアのエンジン部に接点を有していることが要件です。メーカーや機器に指定や推奨品はございません。

■ 火災報知器や警備システムとの連動は可能ですか

火災報知器の作動とともに自動扉や電気錠を開放することや、警備システムの作動中は認証リーダーを無効化することが可能です。

■ 利用中に有線LANの接続ができなくなったらどうなりますか

すでに登録されている解錠権限（暗証番号やICカードなど）についてはそのままご利用いただけます。新規の解錠権限の発行、履歴情報の取得、遠隔からの施解錠はできなくなります。

■ 停電時はどうなりますか

停電時には認証リーダーは利用できなくなります。停電時の動作（「施錠する」「停電直前の状態を保持する」「解錠する」）は利用される電気錠や自動扉によって異なります。利用される電気錠や自動扉のメーカー様にお問い合わせください。

■ お見積りの際に何か必要な情報はありますか

設置場所の平面図、（既設の扉の場合）設置予定の扉の写真をご提供ください。また、以下の情報も合わせてご連絡ください。
設置場所、設置予定の扉の数、退室時の認証が必要かどうか、電気錠や電磁錠の設置有無、電源や有線LANの配線が可能な電気工事会社の有無

大学、研究機関と実業界をブリッジする
デザイン&エンジニアリング企業として、
社会のあらゆる問題を解決し、
「次世代の社会構築・制度設計」の促進
に貢献する

会社名	株式会社構造計画研究所
設立日	1959年5月6日
代表執行役社長	服部正太
資本金	10億1020万円
従業員数	615名（2020年9月16日現在）
上場市場	東京証券取引所 JASDAQスタンダード

建設・防災分野



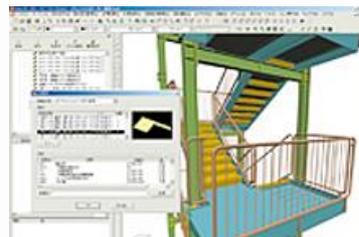
- 熊本城の修復(1960年代)
- 超高層建築・大規模特殊構造物
- 防災コンサルティング

情報通信分野



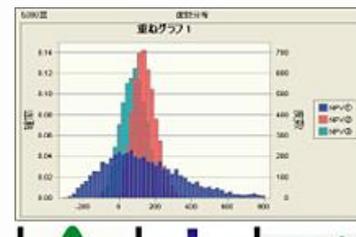
- ソフトウェアの受託開発
- 電波伝搬シミュレーション

製造分野



- 生産・物流シミュレーション
- 仕様設計支援

意思決定支援分野



- リスク分析シミュレーション
- マルチエージェントシミュレーション

管理者と入室者の双方に 安心・簡単・便利を提供

Remote LOCK™



経営者・スマートロック利用者選ばれて
スマートロック部門No.1

TRIPLE AWARD
3冠受賞

JCR
ビジネス向け
No.1

JCR
使いやすさ
No.1

JCR
機能充実度
No.1

安心

01



簡単

02



便利

03



株式会社構造計画研究所

RemoteLOCKセールス窓口

TEL : 050-5306-6250 (平日9:00-17:00)

MAIL : remotelock@kke.co.jp

WEB : <https://remotelock.kke.co.jp/contact/>

手頃なコストと設置方法の入室管理なら配線や電源工事不要のスマートロックもおすすめです。詳細はこちらから▼

[Wi-Fi型スマートロック](#)

[『RemoteLOCKリモートロック』の
資料請求はこちらをクリック](#)



調査実施先: 日本コンシューマーリサーチ 調査期間: 2020年11月16日~11月18日 調査対象者: 経営者またはスマートロック利用者 547名

調査概要: スマートロックを取り扱う10社を対象としたブランド名イメージ調査 調査方法: インターネット調査